

京都SDGsパートナー登録証



京都電工株式会社は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

なくてはならない存在として地域に貢献する「京都の街の親切な電気店グループ」Kyodenチェーンの本部店として、パートナーシップを強化し、協業・競争・共助の理念を貫き、持続可能な会社づくりと街づくりに努めます。

●SDGsに関する重点的な取組●

地球温暖化に大きな影響を及ぼす温室効果ガスの排出を抑制するため、①高効率給湯器の普及に努め②冷蔵庫やエアコンなどで省エネ性能の高い「5つ星製品」への買替えを促進し③フロン排出抑制法を遵守します。また④うちエコ診断制度を推進し、家庭でできるCO₂削減を広く啓蒙・啓発します。

①健康経営優良法人を継続し、従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦力的に取り組めます。②スキルアップを実践し公的に認められる技能を備えた社員に対し一時金でなく技能資格手当として支給することで働きがいのある環境を継続します。③京都府奨学金返済負担軽減支援制度の導入企業として若い従業員を応援します。

自社の再エネ設備への投資は一巡したので、売電目的ではなく自社で消費する電力は自社で賄う自立的再エネ導入に賛同する企業を、2030年までに毎年1社ずつ増やす努力をします。また、3R、特に家電リサイクルを徹底順守し、地域のコミュニティ回収に協力してゴミ減量に努めます。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

持続可能な「御所南地域の安心・安全・美化」を守るため、定期的に落書き消し活動に参加しています。また、高瀬川の桜を愛でる文化を保ち、景観の保護と保全を継承する『銅駝高瀬川保勝会』に協力して毎年ライトアップの設営をし、毎年7月の祇園祭り提灯や8月16日の銅駝盆踊り大会の提灯設営に協力しています。

2022年6月30日
(登録番号:00021)

京都電工株式会社
河村泰三



京都市長
門川 大作

